



各位



2016年2月12日

株式会社メディパルホールディングス

株式会社ファンペップ

## 株式会社メディパルホールディングスと株式会社ファンペップの 抗体誘導ペプチドに関する提携について

株式会社メディパルホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：渡辺秀一、以下「メディパル」という。）と株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「ファンペップ」という。）は、2月10日、抗体誘導ペプチドに関する提携契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

抗体誘導ペプチドは、大阪大学大学院医学系研究科との共同研究によりファンペップが実用化を目指している機能性ペプチドで、疾患関連タンパクに対する抗体産生により持続的に効果を示すようにデザインされたペプチド医薬品候補であります。

メディパルは、抗体誘導ペプチドが有する新規性、経済優位性ならびに患者利便性等において、その製品化と流通は極めて社会的意義が高いと判断し、このたびファンペップと提携契約の合意に至りました。

今回の提携により、メディパルは、ファンペップに対して、契約一時金に加え、今後3年間に亘ってファンペップが進める抗体誘導ペプチドの研究開発に対する支援金を支払います。これによりファンペップは本研究開発プロジェクトを円滑に推進することができます。

一方、メディパルはその対価として、ファンペップが本研究開発プロジェクトから創出したペプチド医薬品候補を製薬会社に導出した際には、ファンペップが導出先から受け取る契約一時金及び開発マイルストーンの一部を受け取る予定のほか、本ペプチド医薬品の日本国内等の販売・流通について優先交渉権を取得する予定であります。



<参考情報>

抗体誘導ペプチド

抗体誘導ペプチドは、疾患関連タンパク質に対する抗体を体内で産生させる機能性ペプチドのことです。従来のワクチンとは異なり、獲得免疫系のうち、細胞性免疫（細胞障害性 T 細胞）を活性化せずに、抗体産生に関連する液性免疫（B 細胞）のみを選択的に活性化させることが特徴です。細胞性免疫（自己免疫反応）による副作用を回避することにより、ファンペップでは、生活習慣病等の慢性疾患治療薬として実用化することを目指しております。

ファンペップでは、抗体産生を選択的に誘導することから、この機能性ペプチドのことを「抗体誘導ペプチド」と呼んでおります。

<お問い合わせ先>

株式会社メディopalホールディングス コーポレート・コミュニケーション部

Tel : 03-3517-5171

Fax : 03-3517-5028

株式会社ファンペップ 東京オフィス

Tel : 03-5315-4200

Fax : 03-5315-4203

以上